

地域で一番信頼される金融機関をめざして…



令和8年3月23日に思川支店から名称を変更し、新築移転した「小山支店」

当金庫のシンボルマーク



栃木信用金庫

赤は、地平線より昇る真っ赤な太陽を表し、この太陽は明日に向かうことを意味し、また血の通った人間同士のお付き合いをいつまでも続けたいとの願いを込めております。両側のとしんカラーのオレンジは、地域とそこに生活する人々を表し、地域や人々が暖かな希望に溢れた毎日を送れるようにとの願いが込められております。中央の白は、栃木信金の頭文字の“T”をイニシャル化しており、この白が清潔潔白に公正に事業を遂行して行こうとの決意の表明であります。

CONTENTS

- | | |
|-------------|----------------|
| 2 ごあいさつ | 11 商品・サービスのご案内 |
| 3 経営理念と基本方針 | 12 経営管理態勢 |
| 5 業績ハイライト | 15 総代会 |
| 7 中期経営計画 | 16 組織図・あゆみ |
| 8 としんの取り組み | 17 店舗・ATMのご案内 |
| 9 地域社会への貢献 | |



■資料編等については当金庫ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。



ごあいさつ



平素は栃木信用金庫に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、令和7年度の「とちしんDISCLOSURE2026」を発行いたします。

この度、栃木信用金庫8代目理事長に就任いたしました橋本正義でございます。前任の伏木昌人理事長より、栃木信用金庫の経営を引き継ぐことになりました。前理事長の築いてこられた経営路線を踏襲し、更に拡大させ、収益基盤を安定させていく所存です。

これからも、役職員一同、会員の皆さまにご満足いただけるよう金融サービスを提供してまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

令和7年度の地域経済を取り巻く環境は、物価上昇や人手不足、金利環境の変化等、変化の大きい一年となりました。今後の地域経済を展望すると、人口減少や人手不足といった構造的課題は続くものの、デジタル化の進展や新産業の芽吹き、観光事業の復活など、地域再生の可能性が広がっています。当金庫におきましては、中小企業の事業承継、設備投資、脱炭素への取り組みなど、業務の領域はますます多様化しており、果たすべき役割は、これまで以上に地域経済にとって重要性を増しています。このような状況下、令和7年度より、中期経営計画「プロジェクト100」～ひとり100社（人）のファンづくり～がスタートし、お客さまの課題解決や地域の成長に資する支援に注力し、地域の皆さまのために何ができるかを考え、より質の高い金融サービスの提供に力を注いでまいりました。

令和8年度は、来るべき令和10年の創立100周年に向けて当金庫の行動指針である中期経営計画「プロジェクト100」の2年目です。「**地域で一番信頼される金融機関**」を確固たるものにしていくため、地域の未来のために主体的に関わっていくことが重要と考えております。

今後とも「とちしん」へ一層の支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年7月

理事長 **橋本 正義**

